

[電子情報]江口教授と安部裕人君 の論文が国際会議 ICICIC2018 で Best Paper Award を受賞



電子情報工学科・江口教授（右）

8月20日(月)～23日(木)の期間において、中国・連雲港市の中国淮海工学院 (Huaihai Institute of Technology, HHIT)にて ICIC International 主催の国際会議 The 13th International Conference on Innovative Computing, Information and Control (ICICIC2018

: <http://www.icicconference.org/>) が開催されました。同国際会議において、工学部電子情報工学科の江口教授と工学専攻1年の安部裕人さん(筑前高校)の共同執筆論文が、ベスト・ペーパー・アワードを受賞しました。

本国際会議では、世界各国から論文の投稿があり、うち 179 件の論文が採択・発表されました。江口教授らの論文題目は、「Development of a simple direct switched-capacitor ac-ac converter using cascade connection」であり、トルコ・コカエリ大学の Farzin Asadi 教授と共同研究を行っている内容です。

本共同研究は、従来使用されている自動トランスの代わりに、単相の交流電圧を、磁性部品を用いずに変換する技術を研究したものであり、産業応用の見地から高い評価を得て、今回の受賞に至りました。

今後の共同研究によって、更なる研究成果が出てくることを期待しています。



安部裕人さん(筑前高校)

掲示期間 H-30-130
 9月11日～10月2日

この件のお問い合わせは広報課へ